

# ちばの博物館

<http://www.chiba-web.com/chibahaku/>

発行・編集  
千葉県博物館協会  
〒260-8682  
千葉市中央区青葉町955番地  
千葉県立中央博物館  
TEL.043-265-3111

## 耐震補強工事を終えて ー千葉県立美術館ー

当館は開館して40年が経過し、建物の耐震強度不足や設備の経年劣化が見られることから、施設の長寿命化と利用者サービスの向上を実現するために2年間の工期で改修工事を実施しました。

耐震補強としては既存屋根の仕上げを天然スレート三枚葺きから金属板葺きに変え、屋根全体の荷重を約25%軽減し、耐震強度を確保しました。展示室は壁面を白で統一し、床材、天井材も併せて貼替え、美術品の鑑賞に影響を与えないよう明るく落ち着いた展示空間としています。また、自然光を取り入れていた天窗を塞ぎ、全面的にLEDの人工光に切り替え、従来より明るく、作品を鑑賞しやすい照明としました。

さらに、空調機械設備も一新し、快適に美術作品を鑑賞していただくとともに、収蔵庫内の作品保存環境の向上も図っています。

2年間の休館中には、収蔵作品を県内各地の施設で公開する移動美術館や、実技講座、出前授業などを行ってきましたが、平成27年1月24日に、開館40周年記念特別企画展として「平山郁夫展ー仏教伝来の軌跡、そして平和の祈りー」の開催で再開館しました。



工事の様子

- 【開館時間】 9:00～16:30 (入館は16:00まで)
- 【休館日】 毎週月曜日 年末年始 展示替日
- 【入館料】 収蔵作品展は一般300円 特別展は一般800円
- 【お問い合わせ】 ☎ 043-242-8311 FAX 043-241-7880
- 【ホームページ】 <http://www.chiba-muse.or.jp/ART/>
- 【交通】 JR 京葉線、千葉都市モノレール「千葉みなと」駅から徒歩10分

も  
く  
じ

- 耐震補強工事を終えて  
ー千葉県立美術館ー…………… 1
- 「博物館資料救済体系が動き出しました」  
事業報告…………… 2
- 千葉県博物館協会平成26年度研修会  
参加報告…………… 4
- 春から秋の催し(3月～9月)…………… 6
- 展覧会案内…………… 7
- 日誌抄・編集後記…………… 8

No. **135**  
2015.3.31

# 博物館資料救済体系が動き出しました

地域振興委員会 千葉県立中央博物館 森田 利仁

2004年に起きた九十九里いわし博物館の爆発事故の経験から、資料救済についての千葉県の意識は、他県に比べ比較的高かったと言えるかもしれません。事故後、全国に先駆けて、資料救済の体制やマニュアル整備などの議論も行ってきました。しかしそれらの経験や議論は、3.11の東日本大震災のとき、実際にはほとんど役に立たなかったのも現実です。災害に対する想像力が足りなかったと言えるかもしれません。いずれにしてもこの反省から、災害時に実際に動ける救済システムを構築する必要性が痛感されたのです。そこで、千葉県立中央博物館を拠点とした「博物館収蔵資料を次世代に引き継ぐシステム構築」事業（文化庁補助事業）が立ちあがりました。その事業の中で、2012-13年度にかけて、資料救済に関する体制・実施要領等を策定し、千葉県博物館協会に提案したのです。その提案内容を総称して「博物館資料救済体系」と呼んでいます。

この提案は昨年5月の協会総会で承認され、今年度から実際に、協会の仕事として動いています。ここで改めて、この救済体系（以下「救済システム」）の狙いと、その特徴を紹介させていただきます。（詳細は<http://www.chiba-web.com/chibahaku/kyusai.html>をご覧ください。）

## 1. みんなでつくる

博物館資料の救済は、多くの人手を要する一大事業です。参加するみんなが、納得できる体制や手順で進めなければ、事業を前に進めることはできません。そこで、救済システムの構築に当たっては、できるだけ多くの学芸員が参画できる形をどうつくるのかに苦心しました。たくさんの人でシステムを構築するという事は、時間とエネルギーがかかることであり、また対立する意見の調整を行う結果、机上の理想からは離れたシステムになってしまう可能性もあります。しかしそのような短所よりも、“みんなでつくった”という実感を大切にしました。出来上がった救済システムへの愛着や責任感が芽生えることのほうを、優先したのです。そこで、千葉県博物館協会加盟館に参加を呼びかけ、学芸員会議を開催したのです。2カ年にわたり、のべ140名ほどの学芸員の方が議論に参加し、救済システムをつくり上げることができました。

## 2. 何を救済するのかを明確に

救済システムを構築する際、まず議論に参加する人たちの間で確認したのは、本システムで救済するのは

加盟館園の博物館資料である、ということでした。もちろん地域には、博物館に収蔵されていない貴重な資料が多数存在します。専門家の人情としては、これらも救済対象とすべき、という気持はわかりますが、緊急時に、あれもこれもと迷っては何も始まりませんし、限られた戦力を分散投入するのでは、すべての資料の救済が手遅れになってしまいかねません。まず何を救済するのか、優先順位を決める必要があるのです。博物館は、資料を恒久的に後世に継承するために存在する施設であり、その施設に保管されている資料の救済がまず最優先であるというのは、博物館人の基本的な倫理感にも合致します。そしてこのことには、地域の貴重な資料は、できるだけ博物館に保管させてほしい、という博物館人の願いも込められているのです。

## 3. 個人ではなく組織で

3.11の際、全国の博物館学芸員が被災地の博物館に出かけて救済作業を行いました。ただし初期の段階では、多くの学芸員は、年休や休日を活用し、個人の資格で参加したと聞いています。そうせざるを得なかったのは、被災した現地の博物館から依頼状を得ることができなかったからです。依頼されない博物館に職員を派遣し、その資料の取り扱いを命ずるという判断も難しかったのでしょうか。しかし、もしも現地で事件や事故に巻き込まれたらどうなるのか、また、旅費や宿泊費などの活動資金の負担は誰がするのかなど、個人参加にはやはり多くの問題があります。したがって逆に、大災害時には被災館からの依頼状が届かないことを前提にした上で、職員を公務で派遣するシステムを構築しなければならないのです。

千葉県博物館協会では、会則を改訂し、博物館資料の救済を協会の正式な事業としました。また「博物館資料救済体系構築決議」を採択し、この中で、「わたしたち千葉県博物館協会加盟館園は、博物館が被災し、博物館資料が被害に及んだ場合には、相互扶助の精神のもと、それを可及的速やかに救済するため、博物館資料救済体系を構築することを決議します。」と謳っています。つまり、千葉県博物館協会に加盟することが、同時に「博物館資料を救済してもらう」あるいは「救済する」盟約を締結したこととなるわけです。これにより、被災館からの直接の依頼状なしに、被災館を救済するための法的根拠を得たと考えています。

ただし、実際に自分の館の職員を出張させるために

は、館長判断だけではなかなか難しいのが実情です。設置者の理解も必要となってきます。そのため、この救済システムでは、有事の際には、県教育委員会から市町村教育委員会に、所管する博物館の救済活動への配慮を依頼することになっています。しかし首長部局が所管する博物館、指定管理者が運営する博物館の職員を派遣する仕組みについては、まだ検討事項であるのも事実です。

#### 4. 迅速に動くために

分厚いマニュアルの隅から隅まで頭に入っていないければ、何をしたいのかわからないのでは、いざというとき役に立ちません。すぐれたマニュアルは、最初に何をすればいいのかだけを覚えておけば、後は自動的に流れができ、その流れに乗るだけで救済活動が進むというものでしょう。本救済システムでは、県内に分散する協会加盟館を11の地域ブロックに分け、それぞれのブロック内にブロック中核館を設置することにしました。いざ災害が起きたときには、加盟館は自分が所属するブロックの中核館に、まず被害状況を報告するだけでよいのです。そしてブロック中核館は、ブロック内の被害状況を取りまとめ、本救済システムのセンター館に報告するだけでよいのです。もちろんセンター館である千葉県立中央博物館は、システム全体を頭に入れておかなければなりません。加盟館や中核館が初動でやることは、覚える必要もないほど、とても簡単なことだけなのです。その後、情報を集約したセンター館において、総合対策本部が立ち上がり、被災した博物館への人・物資の救援計画を立案します。その計画に従って、再びブロック中核館を通して、加盟館への協力要請を行うのです。いずれにしても、シンプル・イズ・ベストを心がけたシステムだと言えるでしょう。

#### 5. 平時の活動を重視

しかしブロック化のもっとも大きなメリットは、平時に現れると考えています。平時には、ブロック会議を年に一度以上は開催することとなっており、この会

議を通じて、地域の隣り合う博物館どうしが、普段に交流することができます。いざというとき、被災した館のことにまったく無知な人たちがばかりが集まっても、戦力にはなりません。他館ではあっても、同じブロックに所属する博物館どうしが、互いのことをよく理解しあう関係があつてこそ、有事の際の救済がうまくゆくのだと考えています。そのためのブロック会議なのです。また、ブロック内で話し合われた問題点などは、ブロック中核館が集まるブロック代表者会議で議論され、システムの改善につなげることもできます。現場の意見が常に反映できるシステムであることが、現場の当事者意識を高める上で大切なことであると考えています。

#### 6. 今年度の活動

昨年5月の総会で正式承認されて以降、地域振興委員会は、各ブロックのブロック会議の立ち上げに専念しました。その結果、9月4日の東葛飾ブロックを皮切りとし、今年度の1月までにすべてのブロックで、ブロック会議が開催され、中核館も決定しました。ようやく、救済システムを動かす体制が整ったこととなります。1月29日には、第一回のブロック代表者会議も開催され、そこで、第一回の情報伝達訓練の実施要領も定めることができました。毎年実施する訓練も、有事を忘れないための大切な行事であると考えています。(今年度の活動は、ブログ <http://blog.goo.ne.jp/chibahaku> をご覧ください。)

いずれにしても、この救済システムはまだ動き出したばかりです。次年度以降もブロック会議や訓練を継続し、より実践的なシステムに練り上げていきたいと考えています。何よりも、平時の活動を充実させ、このシステムを風化させないことが大切であると考えています。協会の各加盟館園のみならず、これからは地域振興委員会へのご協力をお願いいたします。

ぬいぐるみの製造、販売  
**株式会社 エステー**



可愛い動物のぬいぐるみを数多く、生産、販売しています。  
オリジナル商品の開発、生産も承ります。  
[www.auroraworld.jp](http://www.auroraworld.jp)

虫菌害対策(ガスくん蒸)・生物生態調査・空気環境調査

**文化財保存の  
エキスパート**

**NECC 環境コントロールセンター**

【本社】(環境部・研究開発室・営業部・総務部・経理部・情報管理室)  
〒260-0806 千葉市中央区宮崎1-22-10  
TEL 043-265-2261 FAX 043-261-0402  
URL <http://www.e-c-c.co.jp>

屋内外広告物全般 企画・製作・施工

ステンレス・アルミ製各種看板・電飾看板  
道路標識・街路表示板・観光絵看板  
各種横断幕・懸垂幕・のぼり旗  
プラスチック製品加工

千葉県屋外広告業登録 第202号  
有限会社 **大窪美術工房**

〒262-0002 千葉市花見川区内山町191番地  
TEL 043(257)1221(代) FAX 043(257)1224  
E-mail: [art-studio.okubo@apost.plala.or.jp](mailto:art-studio.okubo@apost.plala.or.jp)

# 千葉県博物館協会平成26年度研修会参加報告

野田市郷土博物館 柏女 弘道

平成26年11月14日(金)、千葉県博物館協会平成26年度研修会が千葉県立現代産業科学館で開催された。参加人数は44人。テーマは「博物館資料等の写真撮影について」。講師に写真家の玉内公一氏を招き、講演会とワークショップ形式で行われた。

博物館業務において、写真撮影の機会は非常に多い。記録用、広報用、展示用など様々な目的のために日々撮影が行われ、また撮影対象も多様であるがゆえに、苦勞を伴う面も多い。今回の研修会はそうした博物館職員ならば誰でも経験する資料等の写真撮影について、プロの写真家から技術を学ぶ機会として企画された。

まず、玉内氏よりパワーポイントを使っての講演があった。演題は「デジタルカメラを用いた資料撮影について」。



▲玉内氏による講演

写真撮影の基礎である「撮影目的の明確化」の重要性やデジタルデータの特徴についてお話しいただいた後、カメラの解像度やレンズについて、それぞれの特徴について紹介していただいた。

ポイントは以下の通り。

- ・資料写真の撮影目的は様々。展示用や広報用など目的に応じて撮り方が異なる。最も難しいのがアーカイブ用の撮影。20年後、30年後にその写真が何に使

- われるのかを見据えながら撮影を行う必要がある。
- ・デジタルデータは入力と出力が1:1であり、最良の仕上がりを求める場合は撮影時から等倍の画像を撮ることを心掛ける。
- ・データ上での拡大縮小は画質の劣化につながる。特に縮小は画像内のドットを間引くことであるため、拡大に比べて劣化が激しい。
- ・近年は安価なカメラでも大きな画素数を持っている。しかし、デジタルカメラ購入時は画素数だけでなくセンサーサイズに注目する必要がある。1,600万画素あっても8,000円で買えるカメラはセンサーサイズがとても小さい。センサーサイズの差が値段や画像の仕上がりの大きな差になってくる。資料写真を撮るのであれば、理想のセンサーサイズは35mmフルサイズ(36×24mm)。最低でもAPS-Cサイズ(22.3×14.9mm)は欲しい。
- ・背景紙と被写体の間隔は広くとったほうがよい。

昼食休憩の後、後半は、講座室内に撮影スタジオを組み、実際に様々なライティングで人形の写真撮影を行いながら、それぞれの写真の特徴について解説していただいた。



▲実技を交えた解説

ポイントは以下の通り。

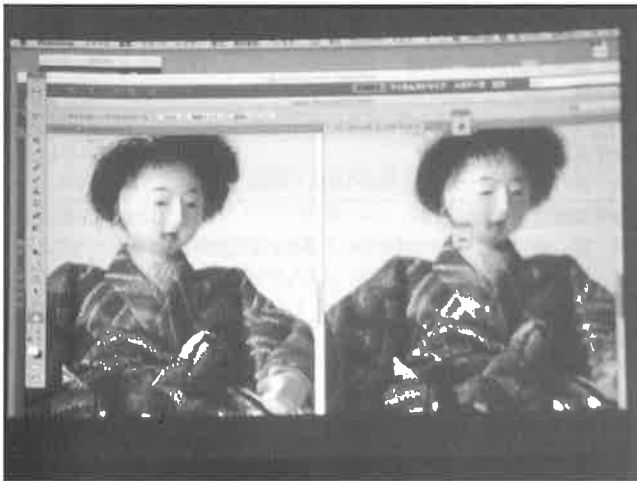
- ・資料に対して光源は左に置くのが基本。ただし、資

料の右側が見せたい場合などは右に置く。影は左から右に流れる方が自然なため、悩んだら左に置けば間違いはない。

- ・点光源はハイライトがはっきり出る。アンブレラ（傘）やトレーシングペーパーを使うことで光が拡散され、やわらかい写真となる。光を拡散させることで反対側も明るくなる。
- ・ガラスや塗り物などの周りのものが写り込む資料は、トレーシングペーパーなどで囲い、写り込むものに照明を当てる。資料そのものに光をあてても光源が写り込む上にかえって暗くなる。



▲ Photoshop を用いた絵図の写真の加工



▲ライティングによる写真の変化の解説

最後に Photoshop を用いた画像加工・編集についてご紹介いただいた。現在の画像編集ソフトは非常に簡単に扱えるようになってきているが、それゆえに注意する点も多いという。

ポイントは以下の通り。

- ・歪みの補正などはやり過ぎると資料そのものの形が変わってしまい、結果的に正しい資料の姿を伝えない写真になってしまうことがある。

写真撮影という博物館職員にとって非常に身近なテーマであり、質疑応答の時間にも、フィルムカメラとデジタルカメラの優劣や白い被写体の撮影方法など様々な質問が出ていた。講師の玉内氏は、奈良文化財研究所文化財写真課程研修講師や文化財写真技術研究会テクニカルアドバイザーを務めるプロの写真家である。研修で使われた機材も市町村立レベルの博物館の予算では手が届かないようなものもあった。しかし、本研修では、基本的に良い機材を使うことが望ましいとしながらも、安価で日常の業務ですぐに活用できるような写真撮影技術の向上方法が多数紹介されており、非常に有意義な研修であったと感じた。



**印刷物**  
のことならおまかせください!!

チラシ・ポスター・POP・シール・名刺・封筒・ハガキ・DM・カタログ・パンフレット・伝票etc

有限会社エーワンネットワーク  
〒273-0015 船橋市日の出2-2-13 第2ナカイビル102  
営業時間/9:00~18:00 定休日/日曜・祝日  
**TEL.047(437)6208**

**に 関東港業株式会社**  
KANTO KOGYO Co., Ltd.

博物館、美術館資料の  
保存環境調査及びコンサルタント  
専用くん蒸庫完備

〒261-0002  
千葉県美浜区新港58-2  
TEL 043-241-1721 FAX 043-241-0080  
<http://www.kan-ko.co.jp>

水族館・動物園等の企画 / デザイン・設計・施工・管理

**ONY KOBORO CO., LTD.**

株式会社 鬼工房  
東京本社：東京都千代田区神田神保町 2-48  
TEL 0051 TEL 03-3221-1102 FAX 03-3221-1185

## \*春から秋の催し (3月~9月) \*

館名・行事の種類	行事名	開催期間・期日	館名・行事の種類	行事名	開催期間・期日
●我孫子市鳥の博物館		TEL 04-7185-2212	●袖ヶ浦市郷土博物館		TEL 0438-63-0811
展覧会	第71回企画展 鳥の鳴き声展	開催中~6月28日	展覧会	「みどりの丘絵画クラブ作品展」(仮称)	4月2日~26日
展覧会	第72回企画展 アホドリ展(仮称)	7月11日~9月5日	展覧会	「水神下遺跡と奈良輪宿」	5月2日~7月5日
展覧会	第73回企画展 日本の鳥展(仮称)	9月12日~11月29日	展覧会	「ふしぎものがたりとものけのせかい」	8月8日~9月23日
●市川市芳澤ガーデンギャラリー		TEL 047-374-7687	●館山市立博物館		TEL 0470-23-5212
展覧会	さだまさしミュージアム(仮称)	5月30日~7月26日	展覧会	後藤義光生誕200年記念展「房州彫物職人の技」	4月18日~5月24日
●稲毛民間航空記念館		TEL 043-277-9000	展覧会	戦後70年記念収蔵資料展「戦時のたてやま」(仮称)	7月18日~9月6日
展覧会	紙飛行機展示会	4月29日~5月6日(予定)	その他イベント等	歴史体験教室「甲冑を着よう」	毎週日曜日・祝日
●印西市立印旛歴史民俗資料館		TEL 0476-99-0002	●千葉経済大学地域経済博物館		TEL 043-253-9111
講演会・講座等	体験講座「勾玉づくり」	8月1日	講演会・講座等	古文書相談室	6月13日
●御宿町歴史民俗資料館		TEL 0470-68-4311	●千葉県立現代産業科学館		TEL 047-379-2005
展覧会	おんじゅく広報 ~60年のあゆみ~(仮称)	4月~5月	その他イベント等	ゴールデンウイーク科学館フェア2015	4月25日~5月6日
展覧会	御宿の海女の魅力展	6月~8月	展覧会	発明くふう展	6月20日~7月31日
展覧会	ふるさとの秋まつり展	9月~11月	その他イベント等	プラネタリウム上映会	8月(期間未定)
●金谷美術館		TEL 0439-69-8111	●千葉県立関宿城博物館		TEL 04-7196-1400
展覧会	大島士一回顧展	4月9日~6月7日	展覧会	昔のくらし展	4月21日~6月28日
展覧会	アートで見る里見八次伝	6月11日~9月13日	展覧会	パネル展「日本の城郭と天守」	6月30日~10月1日
展覧会	スウェーデン芸術祭	9月17日~12月15日	●千葉県立中央博物館		TEL 043-265-3111
●鎌ヶ谷市郷土資料館		TEL 047-445-1030	展覧会	「妖怪と出会う夏in Chiba 2015」	7月11日~9月23日
展覧会	平成26年度企画展「地区の歴史と文化財⑥ -中沢-」(後期)	開催中~5月10日	●千葉県立美術館		TEL 043-242-8311
●鴨川シーワールド		TEL 04-7093-4803	展覧会	アートコレクション「房総と近代美術」	開催中~9月21日
講演会・講座等	動物友の会 月例会	4/18・25、5/16・23、6/20・27、7/18・25、8/22・29、9/19・26	展覧会	アートコレクション「日本人がみたヨーロッパ」	開催中~5月10日
講演会・講座等	ジュニアトレーナー	6/6・7・13・14・20・21・27・28、7/4・5・11・12	展覧会	アートコレクション「モノクローム」	5月16日~6月28日
講演会・講座等	サマースクール	7/22~24、7/27~31	●千葉県立房総のむら		TEL 0476-95-3333
●鴨川市郷土資料館		TEL 04-7093-3800	その他イベント等	春のまつり	5月3日~5日
展覧会	戦後70年企画展「鴨川と戦争」(仮称)	7~9月	その他イベント等	むらの縁日・夕涼み	8月8日・9日
●木更津市郷土博物館金のすず		TEL 0438-23-0011	その他イベント等	稲穂まつり	9月20・21日
展覧会	企画展「請西藩林家が遺したもの」(仮称)	開催中~6月14日(予定)	●千葉県科学館		TEL 043-308-0511
その他イベント等	博物館でお花見を	4月5日(予定)	展覧会	春の企画展「海の生きもの」(仮称)	開催中~4月5日
展覧会	特別展「木更津戦後70年」(仮称)	8月~10月前半	展覧会	GW期間企画展「絵本の中に入って遊ぼう」(仮称)	4月24日~5月31日(予定)
●君津市立久留里城址資料館		TEL 0439-27-3478	展覧会	夏の特別展	7月24日~8月31日(予定)
その他イベント等	歴史体験-よらい武者に変身-(試着用の甲冑を身に付け、重量・感触を体験し、武器としての「よらい」を学ぶ。)	5月3・4・5日	●千葉市美術館		TEL 043-221-2311
●国立歴史民俗博物館	TEL 043-486-0123 予約部 03-5777-8600		展覧会	千葉市美術館開館20周年記念 歴代館長が選ぶ所蔵名品展	4月10日~6月28日
展覧会	特集展示「山の流行服」	開催中~9月6日	展覧会	開館20周年記念 ドラッカー・コレクション 珠玉の水墨画 ~「マネジメットの父」が愛した日本の美	5月19日~6月28日
展覧会	企画展示「ドイツと日本を結ぶもの -日独修好150年の歴史-」	7月7日~9月6日	展覧会	開館20周年記念 ルーシーリー展	7月7日~8月30日
展覧会	くらしの植物苑 特別企画「伝統の朝顔」	7月28日~9月13日	●千葉市立加曾利貝塚博物館		TEL 043-231-0129
●佐倉市立美術館		TEL 043-485-7851	展覧会	戸村正巳展(仮称)	7月18日~9月23日(予定)
展覧会	佐倉・房総ゆかりの作家たち	4月4日~5月17日(予定)	その他イベント等	加曾利貝塚楽しい縄文体験	7月25日~8月31日
展覧会	佐倉・房総ゆかりの作家たち	5月23日~7月12日(予定)	●千葉市立郷土博物館		TEL 043-222-8231
展覧会	ミテ・ハナソウによる収蔵作品展(仮称)	8月1日~30日(予定)	その他イベント等	鎧やむかしの着物の着用体験	4月11日、5月9日、6月13日、7月11日、9月12日(予定)
●山武市歴史民俗資料館		TEL 0475-82-2842	その他イベント等	火縄銃演武	8月16日(予定)
展覧会	左千夫の世界II「交友録」	開催中~6月28日	展覧会	平成27年度企画展(タイトル未定)	8月25日~11月15日(予定)
展覧会	-励まし、助け合い 歌論を聞かせた友へ-	開催中~6月28日	●DIC川村記念美術館		TEL 0120-498-130
展覧会	太平洋戦争終結70周年記念展I「郷土危うし」	7月7日~10月25日	展覧会	ムルロ工房と20世紀の巨匠たち	4月4日~5月12日
展覧会	-空襲下の山武地方-	7月7日~10月25日	●成田山書道美術館		TEL 0476-24-0774
●城西国際大学水田美術館		TEL 0475-53-2562	展覧会	受贈記念 成瀬映山展	開催中~4月19日
展覧会	水田コレクション浮世絵展 役者絵	5月7日~23日	講演会・講座等	成瀬映山展 ギャラリートーク	4月12日
展覧会	モダン都市・東京 創作版画でめぐる昭和初めの風景(仮称)	6月2日~7月25日	展覧会	受贈記念 古谷蒼韻展1	7月18日~8月30日
●市立市川考古博物館・市立市川歴史博物館	TEL 047-373-2202、047-373-6351		●野田市郷土博物館		TEL 04-7124-6851
展覧会	市立市川歴史博物館企画展「松井天山の鳥獣園と市川市域」	開催中~5月10日	展覧会	野田に生きた人々 その生活と文化 2015(仮称)	4月4日~7月6日
講演会・講座等	講演「市川の歴史と博物館」(考古博物館主催)	5月17日			
その他イベント等	夏休み自由研究お助け月間(両館)	7月~8月の夏休み期間			

館園名・行事の種類	行 事 名	開催期間・期日	館園名・行事の種類	行 事 名	開催期間・期日
●ふなばしアンデルセン公園子ども美術館	TEL 047-457-6661		●茂原市立美術館・郷土資料館	TEL 0475-26-2131	
展 覧 会	動く絵画 ～うつろい いろは～	5月2日～6月21日	展 覧 会	美術収蔵品展「春の優品展Ⅱ」	開催中～5月17日
展 覧 会	ふわふわのかたちと遊ぶ	6月27日～8月2日	展 覧 会	美術収蔵品展「虹色の絵画展」(仮称)	6月27日～8月16日
展 覧 会	平成27年度小・中・特別支援学校 夢・アート展	8月6日～24日	展 覧 会	美術収蔵品展「絵画で巡る寺院仏閣」(仮称)	8月18日～10月18日
●平成美術館	TEL 047-473-1210		●八千代市立郷土博物館	TEL 047-484-9011	
展 覧 会	書画幅展	4月1日～22日	展 覧 会	古文書の正体 -知る・見る・直す・解く-	4月28日～6月21日
展 覧 会	大名時計展	6月1日～20日	展 覧 会	ものけin八千代 -ものけ大集合-	7月18日～9月6日
展 覧 会	茶道具展	7月1日～20日	●和洋女子大学文化資料館	TEL 047-371-2494	
			展 覧 会	イマジネーションの扉をあけて	4月4日～6月18日(予定)

詳細は直接館にお問い合わせください。

**\* 展 覧 会 案 内 \***

**国立歴史民俗博物館**

**大ニセモノ博覧会 - 贋造と模倣の文化史 -**

「ニセモノ」は、暮らしの中で重要な役割をもち、さまざまな歴史をもっています。また、「ニセモノ」が「ホンモノ」



人魚のミイラ  
国立歴史民俗博物館蔵

を乗り越え、文化的な創造性を発揮することもあります。さらに、博物館で作られる研究目的の「ニセモノ」は、「ホンモノ」よりもむしろ研究価値が高い場合さえあるのです。

本展は、ジュラ紀から現代まで約300点におよぶ「ニセモノ」「ホンモノ」の展示を通じて、それらがいかに独自の歴史や文化的な創造性を広げ、私たちの暮らしの中でどのような役割をしてきたのかを紹介します。

<会 期>開催中～5月6日(休)  
<休館日>月曜日(祝日の場合は翌平日)  
<料 金>一般830円、高校生・大学生450円、中学生以下無料

**千葉県立中央博物館**

**妖怪と出会う夏 in Chiba 2015**

千葉県下には河童や大蛇、天狗などの妖怪の伝承が多く伝えられています。

今回の展示では、天狗の爪や大蛇の骨と伝わる資料や、現代も親しまれる妖怪の姿などにも触れ、大人から子どもまで楽しく学べる展示を行います。



地獄絵(部分) 高津観音寺蔵

<会 期>7月11日(土)～9月23日(休)  
<休館日>会期中は無休  
<料 金>大人500円、高校生・大学生250円、中学生以下・65歳以上無料

**千葉市美術館**

**開館20周年記念 ドラッカー・コレクション 珠玉の水墨画**  
**～「マネジメントの父」が愛した日本の美**

世界の企業人に多大な影響を与えた経営学者のピーター・F・ドラッカー(1909-2005)は、日本絵画の個性的な収集家でもありました。本展では、室町時代の水墨画を中心としたこのコレクションから初公開作品を含む111点と、ゆかりの資料を紹介します。

<会 期>5月19日(火)～6月28日(日)  
<休館日>6月1日(月)  
<料 金>一般1,200円、大学生700円、高校生以下無料



雪村周継《月夜独釣図》室町時代 ドラッカー・コレクション

# 日誌抄



## 事務局

### ■第1回役員会

平成26年12月12日（金）10時～12時  
会場／千葉県立中央博物館  
内容／26年度事業の各委員会及び事務局の中間報告

## 研修委員会

### ■第2回委員会

平成26年9月2日（火）14時～15時30分  
会場／千葉県立現代産業科学館  
内容／研修会について

### ■研修会

平成26年11月14日（金）10時45分～15時40分  
会場／千葉県立現代産業科学館  
内容／講演会・ワークショップ「博物館資料等の写真撮影について」  
講師：玉内公一氏（写真家）

### ■第3回委員会

平成27年2月3日（火）14時～15時  
会場／千葉県立美術館  
内容／①今年度研修会の反省について  
②次年度研修会の内容について

## 調査研究委員会

### ■第1回視察

平成26年9月11日（木）14時～16時  
会場／公益財団法人文化財虫菌害研究所  
内容／①施設見学  
②研究報告会講師依頼

### ■第2回視察

平成26年11月21日（金）14時～16時  
会場／君津市立久留里城址資料館  
内容／①施設見学  
②研究報告会講師依頼

### ■第3回委員会

平成26年12月5日（金）14時～16時30分  
会場／千葉県立現代産業科学館  
内容／平成26年度研究報告会について

## 広報委員会

### ■第3回委員会

平成27年2月6日（金）14時～16時  
会場／千葉市美術館  
内容／①『ちばの博物館』135号の編集・入稿  
②協会ホームページのリニューアルについて

## 地域振興委員会

### ■ブロック会議の立ち上げ

平成26年9月4日（木）～平成27年1月20日（火）  
内容／①県内11の地域ブロック会議の立ち上げ（東葛飾、葛南、安房、印旛、長生、夷隅、海匠、千葉、香取、君津、山武）  
②ブロック中核館の選定

### ■ブロック代表者会議（中核館会議）の開催

平成27年1月29日（金）10時～12時  
会場／千葉県立中央博物館  
内容／①各ブロック会議の課題の共有  
②3月11日に実施する情報伝達訓練の実施要領について



## 編集後記

『ちばの博物館』135号をお届けします。各館、各委員会の皆様におかれましては、ご多忙の中原稿作成にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

本年度より博物館資料救済のため、県内の地域ごとにブロック会議が立ち上げられました。有事の際に迅速な対応ができるようにするためにも、博物館同士での日常的な情報交換・共有の機会の重要性を感じる次第です。（柏女）